

<144回予想>

本命	銀行勘定調整表(134タイプ)	貸借対照表&株主資本等計算書 +利益推定問題(139回タイプ)	各費目別の仕訳 タイプ:元帳転記も押さ	追加投入と仕損品の計 総合原価計算(141回予想)	
目標点	14点 解答速報137(2問)、フリテ02	14点 解答速報139(3問)138(2問)	16点 解答速報136回4問	14点 予想祭141回	3問確保



対抗	消費税の一連の流れ (実務ワンポイント動画)	精算表(内容は138-140のF/S) (+新論点・・役務収益・売上原価・ 電子記録債権・貸倒引当金問題)	部門別計算(表+仕訳)139タイプ で 仕訳問題	個別原価計算(133タイプ)	仕訳
目標点	18点 フリテ10回+実務ワンポイント	14点	12点	16点	3問確保



大穴	有価証券 (社債は購入側 ※発行側は1級の範 囲です。訂正してお詫び申し上げます)	本支店会計(本店または支店単 独) 複数支店の可能性も 127回の内部利益ないタイプ	本社工場会計(仕訳+PL)	直接原価計算と全部原価計算 (136回タイプ)	仕訳
目標点	14点	14点	18点	14点	3問確保

まずは過去問5回分をしっかりと実施しましょう。特に商業簿記は過去問からの出題が多く、新論点以外でも70%は確保できるはずです。上記の2問、3問対策をしっかりと実施すれば、商業簿記全般(仕訳含む)の得点をUPする事ができます。

また最近では記帳の問題が多いので、第4問の工業簿記でも記帳の問題の可能性はあると思います。また、各専門校や予想会社が「工業簿記・原価計算を得点源にしよう」とあまりにも声高に話すので、日商側はひねった問題を出す可能性がある。要は各問題でしっかりと70%を確保するつもりで学習すれば、合格ラインには届くはず。特に第4問では予定配賦の考え方をしっかりと理解対応できるようにして下さい。

新論点に関しては、第1問から3問のいずれでも問われる可能性がありますが、難問は合否には影響しないので早めに捨てる決断が大事です。まとめて出題されるとしたら、第二問で売買の流れを問う問題で(役務収益・売上原価・電子記録債権・貸倒引当金)を網羅的に出す可能性くらいでしょうか。

第3問で本支店会計の本店のみ・支店のみの損益勘定作成などが出題されたら、通常の決算整理仕訳と転記だけで12~14点は取れます。見慣れない問題であせるのではなく、とにかく仕訳をしっかりと行って転記できるところを転記するのが大事です。ただ本支店会計は仕訳問題レベルになる可能性が高いと思われる。場合によっては2問で本支店の流れを問う問題の出題可能性もありえると考えられます。テキストなどで一連の流れを押さえておいて下さい。

